



獣医師はもともと向上心を強く持っているもの チャンスを与えて人が育つ環境を継承したい

いまある知識や技術で満足せず
常に上を求め続ける意識を
グループに根付かせたい。

Q:グループの医療の質向上のため行ってきたことは?

グループの学術面を特に任されているので、私自身が常に向上心を持って研鑽を積むことはもちろんですが、私の勉強に対する姿勢は皆に見られていると意識しています。獣医師はもともと向上心を持っているものだと私は思っているので、私の背中を見て皆が向上心を持ち続けることに繋がればとても嬉しいです。

また、新しいことにチャレンジし、チャレンジする人も応援するようにしています。私自身も中村代表からそういったチャンスを与えてもらったので、否定から入らないように気をつけています。

さらに、外部協力や転職などで外からやってくる獣医師がもたらしてくれる知識や意見は、抵抗感を持たず積極的に取り入れて前に向かう意識を持っています。

そして高度医療チームの活動においては、意見を出し合う機会を大切にしています。看護師さんなど獣医師とは異なる目線からの意見も貴重だと思っており、小さな意見でも「良くなるため」の意見はなるべく拾っていきたいと思っています。自分の意見が採用されて状況が

良くなる経験をするチームの一員である実感も強まり、チームの結束力も向上すると考えています。

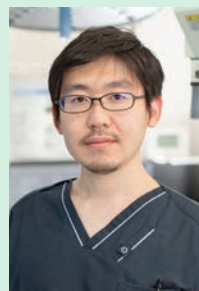
グループの総合病院開設を成し遂げたい。

Q:今後の目標について?

すでに高度医療チームが活躍している専科については層を厚くしていきたいです。担当獣医師の出勤状況に影響されず毎日レベルの変わらない医療が提供できること、例えば循環器チームも現在は外科が中心ですが内科も含めた幅のあるチームにする予定です。

私自身の活動としては、実務はある程度他の獣医師に任せ、論文を国際的な学会に発表していきグループの信頼度や知名度向上にも貢献したいと考えています。

高度医療スタート時に自分の中で掲げた「日本一の病院にする」という目標へ一歩ずつ近づけていきます。



井口 和人

目白通り高度医療センター センター長

得意とする科目：循環器科（心臓病科）、一般外科、一般内科
僧帽弁閉鎖不全症の手術治療を得意としています。

- 麻布大学 卒
- 日本獣医循環器学会
- 獣医循環器学会 専門認定医
- 麻布大学 小動物外科研究室 研究生
- 帝京大学 心臓血管外科学講座 大学院生